



〈公開講演会〉

名誉・暴力・ジェンダー

～中央アジア、インド、中東からの視点～

2015年12月12日(土) 午後5時～7時30分

京都大学東京オフィス

〒108-6027 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階

主催：科学研究費支援関連プロジェクト〈名誉と暴力研究会〉

〔地中海から西・南アジア地域の人々に関わる「名誉に基づく暴力」の文化人類学的研究〕(科学研究費基盤(B)), 2013-15年度)

お問い合わせ：京都大学人文科学研究所 田中雅一

TEL 075-753-6931

メールアドレス shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp

無料・予約不要

〈プログラム〉

和崎聖日

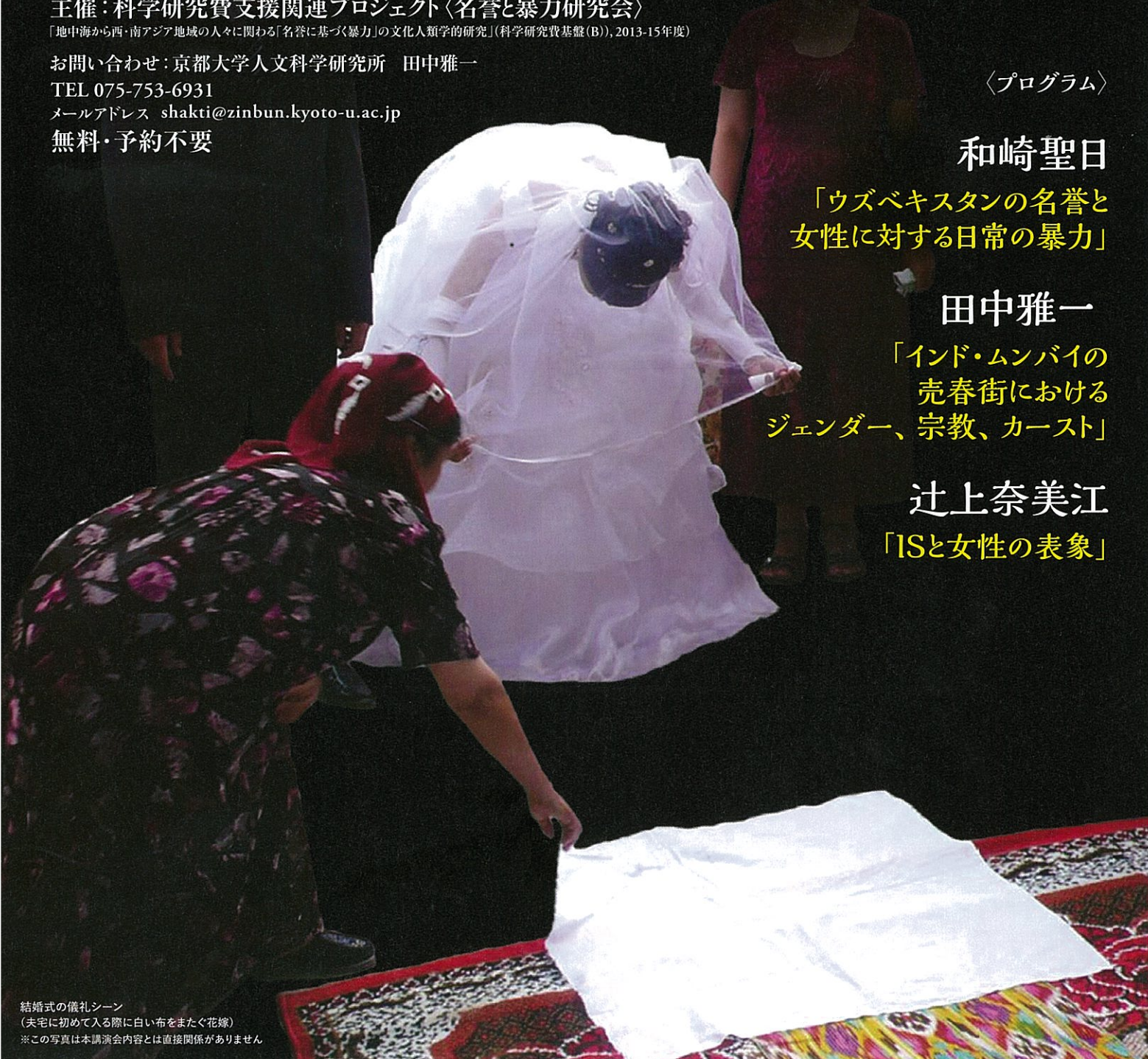
「ウズベキスタンの名誉と
女性に対する日常の暴力」

田中雅一

「インド・ムンバイの
売春街における
ジェンダー、宗教、カースト」

辻上奈美江

「ISと女性の表象」



結婚式の儀礼シーン

(夫宅に初めて入る際に白い布をまたぐ花嫁)

※この写真は本講演会内容とは直接関係がありません

北西インドから中東にかけて、名誉という名前のもとで多くの女性が殺害されてきた。親が決めた相手と結婚することを拒否し、好きな男性と駆落ちをした。婚前交渉をもった。悪い噂が流れた。そんな理由から家族の名誉を汚したとみなされ、若い女性たちが父や兄弟に殺される。国連の報告によると、毎年5000人が「名誉殺人」の犠牲になっている。しかし、実際の数をはるかに多いと想定できる。殺害にいたらなくても、さまざまな差別や排除で苦しむ人びとも多いはずだ。本公開講座では、このような名誉殺人の背景や、ジェンダーに関連することがらについて、中央アジア、インド、中東の3地域を中心に報告する。

なお、本講演会は「地中海から西・南アジア地域の人々に関わる〈名誉に基づく暴力〉の文化人類学的研究」(科学研究費基盤(B), 2013-15年度)の一環として行われる。

科学研究費支援関連プロジェクト〈名誉と暴力研究会〉主催

〈公開講演会〉名誉・暴力・ジェンダー ～中央アジア、インド、中東からの視点～



和崎聖日 (わさき・せいか)

中部大学全学共通教育部全学共通教育科
講師/文化人類学、中央アジア地域研究

『旧ソ連・中央アジアのウラマール族と「英知集」』、『歴史学評論』第783号 2015、『中央アジア定住ムスリムの婚姻と離婚』藤本透子編『現代アジアの宗教—社会主義を経た地域を読む』2015 春風社、「揺らぐ家族と農村」小島敬裕編『移動と宗教実践』2015 京都大学地域研究統合情報センター。

「ウズベキスタンの名誉と女性に対する日常の暴力」

旧ソ連・中央アジアのウズベキスタンにおける農村のムスリム社会を対象として、そこでの「名誉」の概念がどのようにして女性に対する日常の暴力を引き起こすのか、その結びつきについて考えてみたい。同時に、この種の暴力がなぜ社会的に正当化されるのかについても、「名誉」をジェンダー・アイデンティティの核とみなす物の考え方、そして「望ましい社会の姿」(社会秩序)をめぐるイメージの2つの観点から検討したい。しかし、ソ連解体後のウズベキスタンでは、市場経済化の影響や個人主義的な考え方の浸透などによって、「名誉—暴力—社会秩序」という図式が成立しにくくなってきている。本報告では、こうした動態をソヴィエト近代化とソ連解体以後の新しい近代化という「2つの近代化」の中に位置づけたいうえで、ウズベキスタンの名誉と女性に対する日常の暴力をめぐる実像に迫る。



田中雅一 (たなか・まさかず)

京都大学人文科学研究所教授/文化人類学
(南アジア)、ジェンダー・セクシュアリティ研究

『供養世界の變貌 南アジアの歴史人類学』2002 法蔵館、(編著)『暴力の文化人類学』1998 京都大学学術出版会、(共編)『ジェンダーで学ぶ宗教学』2005 世界思想社、『ジェンダーで学ぶ文化人類学』2006 世界思想社、(編著)『軍隊の文化人類学』2015 風響社。

「インド・ムンバイの売春街におけるジェンダー、宗教、カースト」

インド最大の都市ムンバイ、別名ボリウッドは、世界最多の映画製作数を誇る。アラビア海に面するムンバイはもともと港湾都市として発達したが、インド国内外から多くの人びとが流入し、急速に巨大化していった。そのような都市にインド最大と表現される売春街があっても不思議ではない。報告者は、売春街の一路地を調査を行ってきた。今回は、売春街で生活する女性たちの世界の一部を紹介し、そこからインド社会におけるジェンダー、宗教、カーストについて考えてみたい。



辻上奈美江 (つじがみ・なみえ)

東京大学院総合文化研究科 特任准教授/
中東地域研究、ジェンダー研究

『イスラーム世界のジェンダー秩序』2014 明石書店、『現代サウジアラビアのジェンダーと権力』2011 福村出版、(共著)『湾岸アラブ諸国の移民労働者』2014 明石書店、(共著)『境界を生きるシングルたち』2014 人文書院、(共著)『中東政治学』2012 有斐閣。

「ISと女性の表象」

イスラーム国(IS)のシリア・イラクでの台頭により、IS支配下の女性たちは、支配や搾取を受ける犠牲者としてのイメージが形成されている。欧米の若いムスリム女性らは、SNSを通じて兵士らとサイバー恋愛し、彼らに「感化」されて渡航すると説明される。彼女らの一部が複数の男性との性的関係を強要される「性奴隷」となる例は強調されやすい。IS支配地域のヤズィーディー教徒の女性は、レイプや強制結婚の対象となり、あるいは奴隷として安価で売買されることが問題化されるが、男性支配のイメージとは対照的に、民族浄化に立ち向かう「勇敢な」女性兵士のイメージも同時に積極的に構築されている。本報告では、イスラーム過激主義の台頭に際した女性の表象について検討する。

会場：京都大学東京オフィス

〒108-6027 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟27階

●JR・京浜急行 品川駅より徒歩5分

品川駅・東西自由通路(レインボーロード)からは品川インターシティA棟の2階に入ります。エスカレーターで3階までお上がりの上、エレベータで27階にお越しください。

なお、土曜日には、エレベータは1階に止まりません。お車でお越しの場合はSHOP & RESTAURANT棟にあるA棟車寄せまたは地下2階の駐車場(有料)へお入りください。

